



一般社団法人
東彼杵ひとこともの公社
(東彼杵町)



お話を伺ったのは
代表理事
もり かずたか
森 一峻 さん



つたエールけん

県内で頑張っている企業や人に
エール(応援)を送ります!

古い米倉庫を改修し 人がつながる拠点に

2008年、24歳でUターンした当時、東彼杵町は「通りすがりの町」と言われていました。魅力的な人たちは町にたくさんいるのに、そのことを発信する場所や、人と人がつながる場所がなかったんです。そこで、仲間と共に地域の交流拠点を作ろうと古い米倉庫を改修し、3店舗が入る複合施設「Sorrisoriso千綿第三瀬戸米倉庫」をオープン。2017年に、移住支援や店舗の開業支援などを行う当法人を設立しました。



築70年以上の旧千綿村農協米倉庫を活用した「Sorrisoriso千綿第三瀬戸米倉庫」



第11回地域再生大賞「地域未来賞兼九州・沖縄ブロック賞」や令和4年度地域づくり表彰「国土交通大臣賞」などを受賞

5年間で約20店舗の 開業・起業をサポート

Sorrisorisoはレトロな雰囲気や魅力ある商品、ワークショップなどが話題となり、多くの人が集う場所になりました。5年間で約20店舗が開業し、地元の人にも良い刺激を与えています。今後はさらに当法人のウェブサイト「くじらの髭」での地域の情報発信に力を入れながら、東彼杵町に魅力を感じて移住された人、まちづくりのカギとなる若者など、いろいろな人の活躍をサポートしていきます。

新しいひと、こと、ものを 生み出す2つ目の拠点

今年2月、九州電力との協業で、県の補助金も利用し、新たな地域の交流拠点「umino わ」をオープンしました。「umi」は町から望む「海」と新たな価値を「生み」出すという意味。地域や循環の「環」で、ひと・こと・ものをつなげる場所にしていきたいと思っています。「何のお店だろう?」と好奇心をくすぐる外観になっていますので、ぜひ遊びに来てください。



そのぎ茶も楽しめるカフェ、縫製場、コインランドリーの3店舗が入居する複合施設「umino わ」

人を集めるのではなく、
人が集うまちへ
人と人がつながって
新しいことが生まれる